

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 工業 科目 工業技術基礎

教科：工業

科目：工業技術基礎

単位数：4 単位

対象学年組：第1学年 D組～組

教科担当者：（D組：古川）（D組：岩田）（D組：有村）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（工業技術基礎、プロダクトデザインのための製図）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】画像処理ソフト、基礎製図、色彩など、ものづくりにおいて基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】課題に対して深く考え、適切な表現方法を判断するとともに、多角的な観点で制作する力を培わせる。

【学びに向かう力、人間性等】課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
色彩についての知識や表現方法について学び、画像処理ソフトの基礎的技術、活用方法を習得する。基礎製図は道具の扱い方から図面の描き方を学び、図学を知る。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 道具の扱い方、線種の理解 【思考力、判断力、表現力等】 適切な道具の選択、扱う技術 【学びに向かう力、人間性等】 丁寧な仕上げの心掛け	○製図・表示 道具の扱い方、線の描き方、線の種類	【知識・技能】 線の種類を理解し、描き分けてきている。 【思考・判断・表現】 道具の使い方を工夫し、線を描くことができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 線を描き分けることにより伝え方が変わること理解し、実践できている。	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 第三角法による図面	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 一消失点透視図法、二消失点透視図法	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○製図・表示 レンダリング	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
2 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○平面構成	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

3 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	○コンピュータ	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 工業 科目 実習

教科：工業

科目：実習

単位数：6 単位

対象学年組：第1学年 D組～組

教科担当者：（D組：高野）（D組：降矢）（D組：尾引）（D組：有村）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 工業 の目標：

【知識及び技能】 デッサンや発想技術、レタリングや立体構成など幅広い分野において基礎的技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題に対して深く考え、適切な表現方法を判断するとともに、多角的な観点で制作する力を培わせる。

【学びに向かう力、人間性等】 課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。

科目 実習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
平面作品から立体作品まで幅広い分野の基礎的技術を身に付ける。また、発想の力を培わせるために基礎的課題を複数通して知識を深めるとともに技能を活かせるようにする。	それぞれの作品の完成度や表現方法を高める技術を活かし、思考力・判断力・表現力を身に付ける。その他の制作作業の応用として自信で考え展開できるよう繋げる。	課題制作に意欲的に取り組み、社会とのつながりを意識した姿勢づくりを身に付ける。対象者を考慮したものづくりや社会情勢を考える力など意識づくりを持たせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学 期							
3 学 期							
							合計
							30

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科 工業 科目 デザイン科

教科：工業 科目：デザイン科 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 D組～ 組
 教科担当者：(D組：尾引) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書：(参考・デザイン実践)

教科 工業 の目標：
 【知識及び技能】デザインの基礎知識の理解、社会におけるデザインの役割の理解
 【思考力、判断力、表現力等】感性の基礎を形成する情報の収集力、自己の制作のためのリサーチ、考えをまとめる文章力
 【学びに向かう力、人間性等】学ぶ姿勢・態度の習得、クリエイターの仕事と責任の理解

科目 デザイン科	の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
デザインの基礎知識の理解、社会におけるデザインの役割の理解	感性の基礎を形成する情報の収集力、自己の制作のためのリサーチ、考えをまとめる文章力
	【学びに向かう力、人間性等】
	学ぶ姿勢・態度の習得、クリエイターの仕事と責任の理解

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 身の回りのデザインを意識させる ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
	定期考査		なし				
	A 単元 【知識及び技能】 デザインの領域 【思考力、判断力、表現力等】 各カテゴリーの目的の理解 【学びに向かう力、人間性等】 社会の中で実際に発見する能動性	・指導事項 身の回りのデザインを意識させる ・教材 PP、一部プリント、一人1台端末 の活用	【知識・技能】 各領域と社会の中のデザイン活動を知る 【思考・判断・表現】 各領域の目的を理解する 【主体的に学習に取り組む態度】 実際に観察して理解を深め、興味・関心を持つ	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査		なし				
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3 学期	E 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							26

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	有村 徹 降矢 保楠		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	情報技術基礎(DTP 、グラフィックデザイン)		
使用教科書	情報技術基礎、自作資料プリント		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ビットマップ画像の概念の理解と、画像合成処理によるPhotoshopの技術習得をする。 ・Illustratorによるベクトル画像の概念の理解と効果的な表現の工夫、グラフィックと文字を一つにまとめて編集する。 ・企画・デザインしたものを、大量複製を目的としたさまざまな印刷技術について学習し、その技法を駆使して表現展開するグラフィックデザインについての知識・技能を学ぶ。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・各アプリケーションソフトによるCGの基本概念の理解とその操作技術習得の習熟度 ・手作業によるさまざまな印刷技法の理解と、その技術習得の習熟度 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デザイン研究Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ビットマップ画像編集の基礎 ・CDジャケットのデザイン ・凹版「銅版画」エッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshopの演習。ビットマップ画像の選択 方法、画像のレタッチ、色調補正、レイヤーを複数設定した画像の合成や加工。合成加工処理を前提にCDジャケットのデザインを企画・制作 ・エッチングの技法について 版(下絵のトレース)の準備 	12
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・CDジャケットのデザイン ・凹版「銅版画」エッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・Photoshopの演習 ビットマップ画像の選択 方法、画像のレタッチ、色調補正等 ・版となる銅板(防蝕処理、グランド塗布、腐食等)、用紙の準備 ・版画プレス機(小型)の操作法と印刷手順 	16
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・CDジャケットのデザイン ・凹版「銅版画」エッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PhotoshopによるCDジャケットの制作 ・印刷 	16
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・CDジャケットのデザイン ・凹版「銅版画」エッチング 	<ul style="list-style-type: none"> ・PhotoshopによるCDジャケットの制作 ・印刷 ・提出(プレゼンテーション、講評) 	12
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・InDesign 基礎 ・ロゴ、ポスターデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・編集ソフトの基本概念の理解、InDesign演習 ・ビジュアルコミュニケーション(視覚伝達)デザインの中の「告知広告」の機能について ・イラストやレタリングを用いての有効的なメッセージ力、表現力を探求 	16
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・InDesign基礎 ・ロゴ、ポスターデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・InDesignによる写真集編集 ・映画のロゴ、ポスターデザイン制作 	16
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・InDesign 基礎 ・ロゴ、ポスターデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・InDesignによる写真集編集、印刷、製本 ・映画のロゴ、ポスターデザイン制作 	16
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトル画像の応用 ・ロゴ、ポスターデザイン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベジェ曲線の操作方法の演習。効率的な図形の描き方、パターンの作成法等 ・Illustrator CCを使用したお菓子のロゴ、パッケージのデザイン制作 ・映画のロゴ、ポスターデザイン制作 	12
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン ・ロゴ、ポスターデザイン ・冊子デザインと製本 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子のロゴ・パッケージデザイン ・映画ポスター提出(プレゼンテーション、講評) ・メモパッドデザイン制作 	12
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン ・冊子デザインと製本 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子のロゴ・パッケージデザイン ・メモパッドデザイン制作 	16
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン ・冊子デザインと製本 	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子のロゴ・パッケージデザイン、印刷、組み立て ・メモパッドデザイン制作、製本 	12
		合計	156

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	古川 隆 尾引 亮太 伊良原 満美		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	実習		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	1学年で学習した基礎からステップアップし、実践を踏まえた技術を習得する ・写真実習 ・プロダクトデザイン実習 ・デザイン材料実習		
評価の観点	①技能 道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い ②知識 専門知識、思考法、素材の理解 ③態度 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	授業の目的理解	・一眼レフカメラの基本操作 ・立体物複製の基礎 ・マーケティングリサーチについて	12
5月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・一眼レフカメラの基本操作 ・立体物複製の基礎 ・マーケティングリサーチについて	16
6月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・デジタル写真による写真集の作成 ・原型の制作 ・コンセプト立案	16
7月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・デジタル写真による写真集の作成 ・原型の制作 ・コンセプト立案	12
8月			
9月	技術の応用・発展	・モノクロ組写真 ・立体制作 ・レンダリング	16
10月	技術の応用・発展	・モノクロ組写真 ・立体制作 ・レンダリング	16
11月	技術の応用・発展	・フィルム現像・焼き付けなどの暗室ワーク ・下地加工 ・モックアップ制作	16
12月	技術の応用・発展	・フィルム現像・焼き付けなどの暗室ワーク ・下地加工 ・モックアップ制作	12
1月	発表力の向上 的確・正確なフィニッシュワーク	・デジタルカメラによるスタジオライティング撮影・測光・露光の基礎練習 ・表面加工表示 ・プレゼンボード制作	16
2月	発表力の向上 的確・正確なフィニッシュワーク	・デジタルカメラによるスタジオライティング撮影・測光・露光の基礎練習 ・表面加工表示 ・プレゼンボード制作	12
3月	発表力の向上 的確・正確なフィニッシュワーク	・講評 ・プレゼンテーション	12
	合計		156

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩 森 恵美子		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	造形技術基礎(レタリング・パッケージデザイン・デッサン)		
使用教科書	書体サンプル集(補助教材)		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリング検定(6月)までは、検定に向けて技術の向上を図る。 ・レタリング検定以降は、色、形、機能などの美的要素の構成を、生活や経済活動と結びつけ、社会全般で理解、評価されるものづくりを意識した学習及びデッサンを学習する。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリング、文字デザインの各分野に関する基礎的な理解、実践的な態度、技術。 ・パッケージデザインの各分野に関する基礎的な理解、意欲、技術。 ・デッサンの基礎を学ぶ 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	レタリング検定に向けた対策	検定合格を目標にレタリング技術のスキルアップをドリル形式で行う(和文・欧文書体 ・拡大視写)	6
5月	レタリング検定に向けた対策	検定合格を目標にレタリング技術のスキルアップをドリル形式で行う(技術向上の確認としてレタリング検定の受検に向けた指導)	8
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(紙) ・点描 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品のコンセプト立案・アイディアスケッチ ・紙コップを点描で模写 	8
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(紙) ・イレージングデッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローイング、設計、ケント紙による模型制作 ・黒い画面を白くしながらハイライトに気づく 	6
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・静物デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・商品のコンセプト立案・ドローイング、設計(抜け勾配を考慮する・割型の形状を考える) ・1学年で習得した知識・技術を踏まえ、さらなる鉛筆デッサンの技術向上を図る 	8
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・静物デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・発砲スチロールと粘土による模型制作 ・1学年で習得した知識・技術を踏まえ、さらなる鉛筆デッサンの技術向上を図る 	8
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・人物デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・シリコンと石膏による型取 ・自画像を通して人物の形態把握を踏まえ、内面を見つめるデッサンに取り組む 	8
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・人物デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・グラスファイバーと不飽和ポリエステル樹脂によるFRP制作 ・自画像を通して人物の形態把握を踏まえ、内面を見つめるデッサンに取り組む 	6
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・人物デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂表面の研磨 ・自画像を通して人物の形態把握を踏まえ、内面を見つめるデッサンに取り組む 	6
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・木炭デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・塗装 ・表面的な描写ではなく、塊をとらえる力をつける 	8
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・パッケージデザイン(樹脂) ・木炭デッサン 	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション ・空間表現を学ぶ 	6
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	古川 隆		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン概論		
使用教科書	デザイン技術		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	1単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン活動の意義や目的を理解する。 ・カメラと写真に関する基本的知識と、写真の表現について学ぶ。 		
評価の観点	デザインという仕事に興味を持ち、社会が抱える課題をものづくりによって前向きに解決していこうとする意欲が感じられる。そのために必要な知識を身に付ける。 レポートや考査によって評価をおこなう。		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	写真技術	<ul style="list-style-type: none"> ・カメラの基本的な仕組み 	3
5月	写真技術	<ul style="list-style-type: none"> ・露出の原理 (絞り・シャッタースピードと露光時間) ・レンズの仕組みと役割 (ピント・画角・被写界深度) 	4
6月	写真技術	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルムのしくみ(種類・感度) ・露出計とEV値(反射光式測光・入射光式測光) 	4
7月	写真技術	<ul style="list-style-type: none"> ・写真鑑賞(カルティエ・ブレッソン、ウィリアム・エグルストン) ・作品発表の意義と方法、技術 	3
8月			
9月	デザイン概論	デザインとマーケティング	4
10月	デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン用語の解説(VCD分野) ・デザイン用語の解説(PD分野) 	4
11月	デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・制作物の権利－知的財産権について (特許権、意匠権、商標権、著作権等) 	4
12月	デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミュニケーション (社会におけるマスコミの役割) 	3
1月	デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・表現と規制－発信する側の社会的責任、表現の自由と規制 	4
2月	デザイン概論	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の構築とデザイン－サステイナブルデザインの手法 	3
3月	デザイン概論	これからのデザインに求められること	3
		合計	39

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	降矢 保楠		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン表現A(印刷)		
使用教科書	デザイン技術、自作資料プリント		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷(平版、凹版)の基礎を学び、手作業による製版とプレス機の操作法を習得する。 ・版面による化学的な版式の原理・技法を理解し、デジタルにはない表現力を身につける。 ・共同作業の意義やコミュニケーションの重要性を、綿密な作業工程の中で体感し学ぶ。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・技法に見合った絵柄の工夫や演出がされている。 ・旧式の印刷表現を学習することで現代のDTPと比較し、それぞれの良さを抽出できている。 ・態度 道具の扱い方及び安全面や班員への配慮ができ、迅速に行動できる等の判断力がある。 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デザイン表現Aの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	・孔版 「シルクスクリーン」 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・紗張りをを用いた版式の原理と、各使用色ごとのレイヤー分けについて ・描画によるフィルム作成と手順、工程について ・製版方法の理解、用紙の準備 ・製版作業 	6
5月	・孔版 「シルクスクリーン」 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・卓上刷り台での印刷手順について ・インクの作り方や溶剤の分量 ・印刷 	8
6月	・孔版 「シルクスクリーン」 基礎	・印刷	8
7月	・孔版 「シルクスクリーン」 基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷 ・提出(プレゼンテーション、講評) ・落版作業 	6
8月			
9月	・凹版「銅版画」 アクアチント	<ul style="list-style-type: none"> ・エッチング(技法)との比較、表現の相違について ・直刻法と酸腐蝕法、それに伴う防蝕方法について ・版(下絵のトレース)の準備 	8
10月	・凹版「銅版画」 アクアチント	<ul style="list-style-type: none"> ・使用する材質の特徴について ・版となる銅板(防蝕処理、グランド塗布、腐食等)、用紙の準備 ・版画プレス機(小型)での印刷手順について 	8
11月	・凹版「銅版画」 アクアチント	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷 ・提出(プレゼンテーション、講評) 	8
12月	・凹版「銅版画」 エッチング共同制作	<ul style="list-style-type: none"> ・企画プレゼンテーション ・版(下絵のトレース)、用紙の準備 ・製版作業 	6
1月	・凹版「銅版画」 エッチング共同制作	・印刷	6
2月	・凹版「銅版画」 エッチング共同制作	・印刷	8
3月	・凹版「銅版画」 エッチング共同制作	・提出(プレゼンテーション、講評)	6
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン表現B(デッサン)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	2学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	造形活動の基礎であるデッサンの技術向上を図る		
評価の観点	デッサン力向上のための取り組み方、意欲、技術習得		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	鉛筆デッサン	・身近な静物の描写で立体感を意識する。 ・手と静物を組み合わせた構成デッサン。	6
5月	静物デッサン	工業製品と有機物を組み合わせた卓上構成デッサン。	8
6月	デッサン・クロッキー	石膏像(光と影を意識した鉛筆デッサンとクロッキー)	8
7月	表現方法	描画材料を変えたドローイング (鉛筆・マーカー・筆ペンなど)	6
8月			
9月	鉛筆デッサン	組モチーフのデッサンに取り組む(クロッキーで構図のアイデアを探る)。	8
10月	鉛筆デッサン	組モチーフのデッサンに取り組む(一定時間内に完成させる)。	8
11月	木炭デッサン	組モチーフのデッサンに取り組む(モチーフは各自選択)。	8
12月	着彩	単体から組モチーフへ、段階的に増やす。	6
1月	着彩	組モチーフ。卓上静物から囲みの大モチーフへ。	6
2月	想定デッサン	場面を想定しデッサンで表現する。	8
3月	想定デッサン	場面を想定しデッサンで表現する。	6
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	降矢 保楠 有村 徹 森 恵美子 岩田 綾		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	課題研究(映像・プロダクトデザイン・グラフィックデザイン・デッサン構成)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	5単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・映像作品の企画、絵コンテから撮影、編集の基本技術を学ぶ ・プロダクトデザインの一連のプロセスを学び、思考力・造形力・表現力・発表力を養う ・グラフィックデザインの企画・制作・プレゼンテーション等一連のクリエイティブワークを学ぶ ・デザイン・美術系学校の実技試験への意識付けと、描写力・造形力の向上を目指す 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・撮影・編集技術の習得、機械の使い方、映像表現の目的の理解など ・コンセプト企画立案能力、制作技術、プレゼンテーション技術など ・伝達すべきテーマ設定と、そのコミュニケーション表現方法の理解 ・美術系学校の実技試験に求められる、描写力、造形力、忍耐力 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	映像の企画、絵コンテ制作、撮影 アイデア展開、製図、モックアップ制作 アドバタイジングについて学ぶ 鉛筆やコンテを使用したデッサンによる素描の基礎技術、画面構成、質感描写等	15
5月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	映像の企画、絵コンテ制作、撮影 図面作成、モックアップ制作 展覧会リサーチにより広義のグラフィックデザインについて知る 鉛筆やコンテを使用したデッサンによる素描の基礎技術、画面構成、質感描写等	20
6月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	映像撮影・編集作業 モックアップ制作 チームで広告を起案 アクリルガッシュ等を使用した色彩構成。画面構成、色彩調和等のトレーニング	20
7月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	映像撮影・編集作業 市場調査、製品企画、レンダリング ポスター制作を通してディレクター・デザイナー・コピーライターの役割を知る アクリルガッシュ等を使用した色彩構成。画面構成、色彩調和等のトレーニング	15
8月			
9月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	CM企画・撮影・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
10月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	CM企画・撮影・編集 レンダリング、モデリング、プレゼンテーション 各自の卒業制作企画・制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
11月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	各自の卒業制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
12月	映像 プロダクトデザイン グラフィックデザイン デッサン	各自の卒業制作 大学などの推薦入試・実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
1月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作プレゼンテーション 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	20
2月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作展の準備 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
3月	発表力の向上 展示技術の向上	卒業制作展の準備 大学などの実技入試対策、自画像デッサン・静物デッサン	15
		合計	195

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩 尾引 亮太 古川 隆 伊良原 満美		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	実習		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	5単位		
科目の目標	2学年で学習した応用技術からステップアップし、実践を踏まえた発展的技術を習得する ・写実実習 ・デッサン、構成実習 ・V.I.計画実習 ・クラフト実習		
評価の観点	①技能 道具・機材の使用に関する技術習得の進歩の度合い ②知識 専門知識、思考法、素材の理解 ③態度 積極的に活動する態度、自己を向上させようと努力する態度、仲間との協調・協力、諸活動の持続性		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	授業の目的理解	・デジタルカメラ撮影とコンピュータ処理 ・陶芸作品制作に必要なろくろ造り、たたら造り、ひも造り等の基礎技術 ・C.I.についての理解 ・鉛筆やコンテを使用したデッサン	15
5月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・デジタルカメラ撮影とコンピュータ処理 ・陶芸作品制作に必要なろくろ造り、たたら造り、ひも造り等の基礎技術 ・C.I.の手法演習 ・鉛筆やコンテを使用したデッサン	20
6月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・6×6カメラを使用したポートレート撮影 ・食器・陶器の制作、焼成 ・V.I.計画の立案とデザイン ・アクリルガッシュ等を使用した色彩構成	20
7月	道具の正しい扱い方 発想力の向上	・6×6カメラを使用したポートレート撮影 ・陶芸作品を実際に使用して機能と造形について学習する ・V.I.計画の立案とデザイン ・アクリルガッシュ等を使用した色彩構成	15
8月			
9月	技術の応用・発展	・35mmマクロレンズ撮影 ・陶芸作品を実際に使用して機能と造形について学習する ・V.I.計画の立案とデザイン ・画面構成、質感描写等を重点的練習	20
10月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	20
11月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	20
12月	技術の応用・発展	・卒業制作に向けて ・美術系大学の実技入試に向けて	15
1月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業プレゼンテーション ・卒業制作展の準備	20
2月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業制作展の準備	15
3月	発表力の向上 展示技術の向上	・卒業制作展の準備	15
	合計		195

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	有村 徹 森 恵美子		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン技術		
使用教科書	デザイン技術		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	ビジュアルコミュニケーション、プロダクトデザインに関する様々な理論、知識、鑑賞法などを学ぶ。		
評価の観点	各単元の理論や用語, 知識などの理解度 積極的に授業に参加する態度		
月	指導内容 【年間授業計画】	デザイン実習の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	コミュニケーションの理論	6
5月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	マスコミの理論	8
6月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	広告の概論	8
7月	ビジュアル コミュニケーション デザイン	編集デザイン、印刷原理と技術	6
8月			
9月	プロダクト デザイン	工業デザイン概論	8
10月	プロダクト デザイン	デザインワークに関する材料	8
11月	プロダクト デザイン	クラフトデザインの内容と現場	8
12月	プロダクト デザイン	製品開発の現場	6
1月	デザインと 環境問題	生産品がどう地球に影響を与えているか	6
2月	デザインと 環境問題	今後デザイン分野が環境にどう貢献できるか	8
3月	デザインと 環境問題	デザインとは	6
		合計	78

令和年度4年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	高野 美歩		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン史		
使用教科書	文部科学省 デザイン史		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	造形とデザインの歴史を理解し、鑑賞する態度・能力と実際の創造に反映する技術を育てる。		
評価の観点	デザイン史の理解・思考力、鑑賞能力と自身の造形活動への応用力		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	西洋の造形・ デザインの変革	・原始、旧石器時代の西洋における造形活動と人々の営みの関わりを知る	6
5月	西洋の造形・ デザインの変革	・古代オリエント、ギリシャなど宗教的美術作品から造形の歴史と意義を学ぶ	8
6月	西洋の造形・ デザインの変革	・古代ローマにおけるキリスト教美術を学び、その歴史的背景と変遷を学ぶ	8
7月	西洋の造形・ デザインの変革	・ロマネスク・ゴシック時代の建築物から歴史的特徴やデザインを学ぶ	6
8月			
9月	西洋の造形・ デザインの変革	・近世の作品からキリスト教美術、宗教シンボルを理解し、当時の美術界の動きを理解する	8
10月	西洋の造形・ デザインの変革	・近代デザインの成立と展開について理解する	8
11月	日本の造形・ デザインの変革	・原始、古代の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(仏教伝来以前・以後、庭園史)	8
12月	日本の造形・ デザインの変革	・中世の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(茶道・武具)	6
1月	日本の造形・ デザインの変革	・近世の日本における造形活動と人々の営みの関わりを知り、現代の日本文化の礎を先人に習う ・テーマ史(絵画)	6
2月			
3月			
合計			64

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	尾引 亮太		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン計画A(ポートフォリオ)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの果たすべき機能(可読性、プロモーション機能)を理解し、個々の目的に適った作品集を作成する。 ・内容をより魅力的に見せるために誌面を工夫し、個々の進路希望にかなうデザインを考える。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオの機能や役割、作品集制作のワークフローについての理解 ・作業的的確さ、制作技術、完成度 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	ポートフォリオ制作 年間計画作成	<ul style="list-style-type: none"> ・進路活動とポートフォリオの目的を明確にする ・作品撮影における留意点 ・キャプションにおける留意点 	6
5月	ポートフォリオ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオに必要な作品制作計画 ・撮影計画 	8
6月	ポートフォリオ制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオに必要な作品制作 ・CGスキル研究 ・撮影 	8
7月	ポートフォリオ発表	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオを用いたプレゼンテーション ・講評会 	6
8月			
9月	ポートフォリオと プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・追加的作品制作・撮影 ・講評会をふまえたプレゼンツール手直し ・プレゼンテーションスキル研究 	8
10月	ポートフォリオと プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・追加的作品制作・撮影 ・講評会をふまえたプレゼンツール手直し ・プレゼンテーションスキル研究 	8
11月	プレゼン及び グループ討論練習	<ul style="list-style-type: none"> ・追加的作品制作・撮影 ・プレゼンテーションスキル研究 	8
12月	プレゼン及び グループ討論練習	<ul style="list-style-type: none"> ・追加的作品制作・撮影 ・プレゼンテーションスキル研究 	6
1月	改良ポートフォリオ発 表と講評会	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキル研究 ・講評会 	6
2月	改良ポートフォリオ発 表と講評会	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキル研究 ・講評会 	8
3月	改良ポートフォリオ発 表と講評会	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションスキル研究 ・講評会 	6
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	古川 隆		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン計画B(Web)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	2単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・Webというメディアを通して、デザインがインタラクティブ・コミュニケーションのツールとしての役割を果たすことを知る。 ・発想から企画、素材の選択、制作、プレゼンテーション、流通までデザインの流れを学ぶ。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート・ラフスケッチ・作品など、制作から作品提出までの総合評価 ・評価の観点[提出物の内容・期限・出席状況・意欲] 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・DreamWeaverによるWebサイト構築の演習 ・基本操作の習得 	6
5月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・DreamWeaverによるWebサイト構築の演習 ・HTML講義・演習 	8
6月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・CSS講義・演習 ・Webサイトトップページ制作 	8
7月	Webサイト制作基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトトップページ制作 	6
8月			
9月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・CSS応用講義・演習 ・jQuery講義・演習 ・Webサイト下層ページ制作 	8
10月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・jQuery講義・演習 ・Webサイト下層ページ制作 	8
11月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト下層ページ制作 	8
12月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・レスポンシブWebデザイン講義・演習 	6
1月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトブラッシュアップ 	6
2月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトブラッシュアップ 	8
3月	Webサイト制作応用	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイトブラッシュアップ 	6
		合計	78

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	森 恵美子		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン研究A(イラストレーション)		
使用教科書	なし		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会におけるイラストレーションの役割を認識する ・他人と共感しあえる作品を制作する 		
評価の観点	イラストの目的の理解 表現の的確さ 描写技術		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	イラストレーション技法	様々な画材の性質を知る 様々な描画テクニックについて知る	12
5月	イラストレーション技法	様々な画材の性質を知る 様々な描画テクニックの演習	16
6月	イラストレーション技法	様々な表現技法、タッチを利用したイラストレーション制作 模写によるタッチ研究	16
7月	イラストレーション技法	様々な表現技法、タッチを利用したイラストレーション制作 模写によるタッチ研究	12
8月			
9月	イラストレーション展 開	版画イラストレーション 版画の技法演習	16
10月	イラストレーション展 開	版画イラストレーションからの発展	16
11月	イラストレーション展 開	イラストを生かした商品計画 リサーチから演習	16
12月	イラストレーション展 開	イラストを生かした商品づくり	12
1月	イラストレーション展 開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	12
2月	イラストレーション展 開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	16
3月	イラストレーション展 開	プロの技法と作品に触れる 展覧会からの発想	12
		合計	156

令和4年度 年間指導計画

東京都立工芸高等学校 全日制課程

担当者教員名	降矢 保楠		
教科の名称	工業(デザイン)		
科目の名称	デザイン研究B(編集デザイン)		
使用教科書	デザイン技術、明解クリエイターのための印刷ガイドブック基礎編、自作資料プリント		
指導学年・学科	3学年・デザイン科		
単位数	4単位		
科目の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン活動に求められる造形表現の応用力・展開力を身につける。 ・社会に貢献するためのデザインワークのあり方について探求する姿勢を育む。 ・DTP技法・編集デザインについての表現技法を学び技術向上を図る。 		
評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・DTPの分野についての基礎的な理解を深め、探究心をもって意欲的に取り組んでいる。 ・装丁・ページ構成・書体選定・文字組・配置について、計画的で丁寧な作業が来ている。 ・製本。造本技術、レイアウトソフト(InDesign)の基礎知識および技術を習得している。 		
月	指導内容 【年間授業計画】	科目デザイン研究Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	予定時間数
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・編集デザインの基礎知識 ・絵本制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・本の名称、仕組みについて ・ページレイアウトの概念について ・出版におけるDTPの流れについて 	12
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト、レイアウト立案 ・サムネール作成 ・データ作成 	16
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本制作 ・InDesignの演習(初級編) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本操作 ・ページ、ノンブル、書式等各種設定 ・横組、縦組み雑誌のページ作成演習 ・グラフィックを多用したページ作成演習画像処理(ドロップキャップや回り込み等) 	16
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ作成 	12
8月			
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本制作 ・製本 	<ul style="list-style-type: none"> ・糸かがり上製本の糸かがり演習 ・製本作業 ・提出(プレゼンテーション、講評) 	16
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセプト、レイアウト立案 ・サムネール作成 ・データ作成 	16
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 ・InDesignの演習(中級編) 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像解像度と画像サイズとの関係 ・雑誌(見開き2ページ分)のレイアウト作成 ・自分史データ作成 	16
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ作成 	12
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ作成 	12
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ作成 	16
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分史制作 	<ul style="list-style-type: none"> ・データ修正 ・製本作業 ・提出(プレゼンテーション、講評) 	12
		合計	156